

歴史の創造者である人民にたいする革命思想

スウェーデン朝鮮友好協会会長
クリステル・ルンドグレン

金正日総書記は次のように述べています。

「進歩的な思想は社会・歴史の発展において重要な役割を果たします。

人民大衆は進歩的な思想によって導かれるとき、有力な歴史の創造者になることができます。

…

労働者階級の革命思想は卓越した領袖たちによって創始されます。

百数十年にわたる共産主義運動の歴史は、労働者階級の領袖たちが革命思想を創始し発展させてきた歴史であり、その具現によって世界が変革されてきた歴史だと言えます」

チュチェ思想は、朝鮮革命の実践と国際労働運動の経験、時代の要請にもとづいて生まれた思想です。チュチェ思想は、人間中心の哲学的原理と人民大衆中心の社会・歴史原理、革命原理と党と国家活動の指導的原則を明示します。

チュチェ思想は、自主性、創造性、意識性が人間の本質的特性であり、人間は世界と自己の運命を改造でき、人民大衆は革命の原動力、革命の自主的な主体になると見えています。

領袖の使命は、人民のために奉仕し、彼らを勝利へと組織指導することです。人民と領袖の強固な団結は、勝利の必須の条件です。

金正日総書記は論文「チュチェ思想について」の中で、チュチェ思想を全一的に体系化し、いくつかの著作でそれを深化発展させました。金正日総書記は、チュチェ思想の指導的原則を自主的立場（思想における主体、政治における自主、経済における自立、国防における自衛）、創造的方法（人民大衆に依拠する方法、実情に即しておこなう方法）、そして思想を基本に捉えていくこと（思想改造の優先、政治活動の優先）であると示しました。

時代と革命発展の要求に即して、絶えず深化発展されたチュチェ思想は、朝鮮労働党の指導思想です。

金正恩総書記は、チュチェ思想の根本的中核は「以民為天」と人民大衆第一主義の思想であると強調しました。

朝鮮労働党は、党建設と党活動で主体の原理を一貫して貫徹してきました。

チュチェ思想で全社会を一色化することは、朝鮮労働党の最高綱領です。

朝鮮労働党に深く根をおろした、人民にたいする絶対的な奉仕精神は、朝鮮労働党と朝鮮社会にのみ固有な特徴です。